

## 宇部市立中学校の新たなスポーツ・文化活動体制整備協議会 概要

1 日 時 令和5年10月23日（月）14：00～16：00

2 場 所 宇部市役所 第2委員会室

### ○ 宇部市地域クラブ設立の手引きについて

#### 会員1

「生徒が学校部活動と地域クラブの両方に所属した場合、活動時間の規定が守られるのか」、「中体連の試合に出場するための登録が年に2回しかないのは少ない」等の声がある。

#### 会員2

生徒が2つの団体に所属した場合、各所属団体それぞれが活動時間の規定を守ったとしても、活動時間の合計は規定を上回ることが考えられる。

#### 事務局

そのような場合、「手引き」では、『生徒の成長や生活全般を見通し、地域クラブと学校を中心とした関係者が連携し調整を図る。』と規定している。

#### 会員3

他の課題もある。生徒が学校部活動と地域クラブの両方に所属する場合、野球などのチームスポーツではサインプレーが対戦チームに漏れる恐れがある。試合に向けて真摯に取り組んでいる選手や顧問の思いを踏まえて、活動の運営や選手への指導が必要である。

#### 会員4

年2回の登録については、中体連主催の試合の時期に合わせて山口県中体連が設定しているので変えることは難しい。

#### 会長（司会）

それでは「宇部市地域クラブ設立の手引き」の内容を提案通りで決定します。

### ○ 学校部活動の地域クラブ移行時における手続きの流れについて

#### 会員3

ある学校部活動が地域クラブに移行することになった場合、諸事情で地域クラブに参加することができない生徒への対応を考える必要がある。

#### 会員5

保護者としては、中学校には学校部活動の新規入部の停止時期等の移行スケジュールを早めに決めて、小学校に示してもらった方が対応しやすい。

#### 会員4

学校部活動の地域への移行に向けては、地域クラブに参加できない生徒への対応等、様々な課題が考えられるが、地域移行の流れを止めることなく、各学校の実状に合わせて柔軟に対応していくことが大切である。

#### 会長（司会）

「学校部活動の地域クラブ移行時における手続きの流れについて」は「手引き」とともに学校に配付して、参考資料として活用できるようします。

## ○ 実証事業の進捗状況について

### **事務局**

実証事業は20日程度遅れ気味である。これから地域クラブ実施主体を増やすためには、設立に向けた事務作業は市が設立した運営団体が担い、実施主体はクラブ運営に注力できるようにしたい。今後は、既存のスポーツ少年団や保護者が実施主体として手を挙げるのではないかと考えている。

### **会員2**

地域クラブ実施主体を増やすためには、宇部市から認定を受けることにより得られるメリットなどを示すことも必要なのではないかと考えている。

### **事務局**

整備充実支援、指導者配置支援、参加日負担支援を行うことにしている。これらの支援の詳細を「手引き」にも掲載したいところだが、予算が決まっていないので、現段階で示すことができない。次回の協議会では説明したい。

### **会員6**

実施主体を増やすためには、各競技に必要な指導者資格を取得するための費用支援も考えないといけない。

### **会長（司会）**

地域移行の仕組みを作るためには、必要となる諸費用が考えられる。各方面に費用支援を働きかけていきたい。

## ○ 統括コーディネーターから

### **統括コーディネーター**

今後、地域クラブ実施主体になる可能性が高い柔道や剣道の少年団との懇談を予定している。また、現時点において、吹奏楽部の地域移行については、楽器の保管方法やパート練習の場所確保等、様々な課題があり難航している。課題の解決に向けては、練習場所を学校にすることなど、既存の施設等の活用を考えている。

## ○ 終わりに

### **事務局**

次回の開催は、1月中旬を考えている。